

## 除草軽減緑化工法

# BOSOシステム

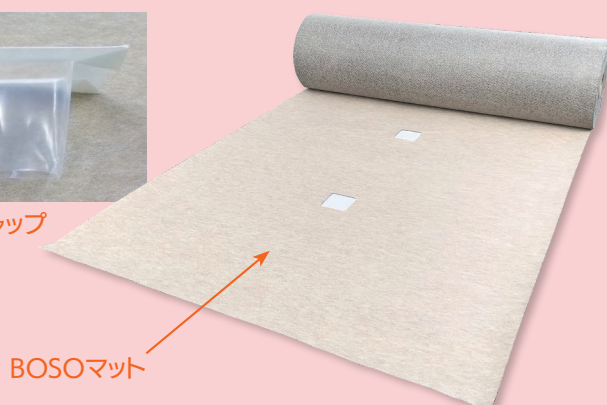
国土交通省 NETIS  
CB-090035-A  
(掲載期間終了)

『BOSOマット』と『BOSOキャップ』によって雑草の発生を抑制しながら、『グランドカバープランツ』による緑の景観を形成する除草軽減型の修景緑化工法です。

### 植栽状況 (例：シバザクラ)



BOSOキャップ



BOSOマット

### 特長



- グランドカバープランツによる緑の景観を維持します。
- 2重の防草効果により、雑草の発生を大幅に抑制します。  
防草効果 1：BOSO マットが雑草の発生を面的に抑制  
防草効果 2：BOSO キャップが隙間からの雑草発生を抑制
- 除草作業の軽減とトータルコストの軽減が図れます。
- システム化により施工性と施工精度が向上します。

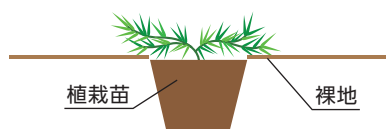


### BOSOシステムの標準使用

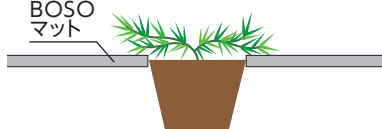
名称	規格	材質
BOSO マット	幅 1.1m × 長さ 30m 色：ベージュ 植栽穴：2株 / m <sup>2</sup> (1列配置、間隔50cm)	ポリプロピレンクロス (基布) に ポリエステル (綿) をニードルパンチした 2層構造
BOSO キャップ	9cm ポット用 (固定用接着テープ付)	ポリエチレン

## BOSOシステムの雑草抑制効果

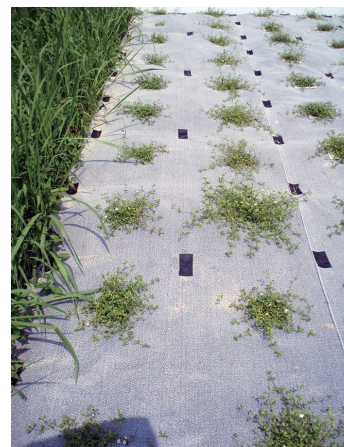
①直植え  
(マット、キャップ両方無し)



②マット開口部に植栽  
(マット有、キャップ無し)



③ BOSO システム  
(マット+キャップ使用)



『③ BOSOシステム施工区』が、雑草の生育を最も抑制しています。

※ 現在のBOSOマットはベージュ色ですが、雑草抑制効果は同様です。

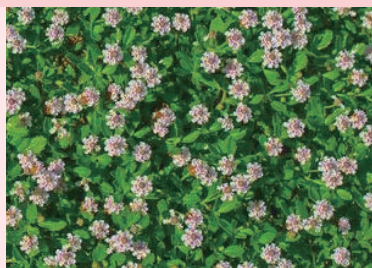
## 植栽植物の例

### シバザクラ



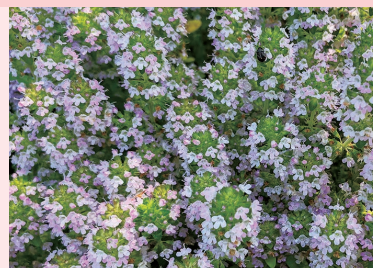
科名・分類：ハナシノブ科  
フロックス属  
植栽可能域：全国（沖縄を除く）  
植栽適期：3月下旬～11月中旬  
(夏季を除く)

### クラピア



科名・分類：クマツヅラ科  
イワダレソウ属 (改良種)  
植栽可能域：東北中部以南  
植栽適期：3月下旬～10月中旬  
(夏季を除く)

### クリーピングタイム



科名・分類：シソ科  
イブキジャコウソウ属  
植栽可能域：関東以北  
植栽適期：3月下旬～10月中旬  
(夏季を除く)

※ 1 植栽植物は、導入地域の気候や施工目的に応じて選定します。

※ 2 植栽密度は、2株/㎡を標準としておりますが、変更することも可能です。詳細は担当営業員にお問い合わせ下さい。

【適応条件】・対象土壌は土壌硬度23mm以下、礫含有率20%以下を標準とします。  
(上記以外で使用される場合は、土壌入れ替え等の検討をお願いします。)

- ・法面勾配1:1.5よりも緩勾配での使用を標準とします。
- ・日光や降雨が遮られる場所での使用は避けて下さい。

【事前処理】・事前処理として、施工地の雑草除去(除草剤散布・刈り払い)を行って下さい。  
(雑草の侵入が著しい場合には、表土剥ぎ取りの検討をお願いします)

【維持管理】・苗植え付け後、10日間～2週間程度は散水を行って下さい。  
・BOSOシステムを施工しても、飛来する雑草の侵入を全て防止できるわけではありません。  
良好な景観を維持するために、雑草の定着状況に応じて、年1回～2回の除草を行って下さい。

【注意事項】・導入植物は施工地域での実績や環境等を考慮し、適切なものを選定して下さい。  
・植物(苗)にはそれぞれ植栽適期がありますので、施工時期に注意して下さい。  
・植物(苗)の在庫には限りがありますので、あらかじめ在庫状況の確認を行って下さい。